

共立女子大学・共立女子短期大学 教養教育科目「自己開発」 PBL 社会連携プログラム 2024 年度 千代田区フィールドワーク 要項

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



PBL 社会連携プログラムとは

自治体、地域社会が抱える課題の解決策を、学部も学年も様々な学生チームが提案する実践的なプログラムです。学部・学年を超えて集う学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体・関係者へのヒアリングなどを通して解決策を見つけ出します。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは成長の機会になります。

ポイント！

- 千代田区と協働し、商工観光を促進するという観点から、観光客増、地域振興を題材に、東京都の事業「UPGRADE with TOKYO」で優勝したスタートアップ事業者 Relyon Trip 社と連携しながら進めるプログラムです。（東京都『「未来の東京」戦略』を推進する事業）
- 異なる環境、多様な感性のメンバーと協働することで、自身と周囲の人々や物事との関係性を理解し、伝統と文化を学べます。
- 文化、食、産業、歴史がつまった神田神保町環境と一押しスポットやおすすめメニュー、ショップなどを知ること、あなた自身が神田神保町の観光大使となり、仲間と神田神保町ファン増産に向けた提案を実践できる課題解決型プログラムです。

課題テーマ

共立女子大学 × 東京都 × 千代田区
「神田神保町から世界へ」誘客大作戦！！
～千代田区内回遊促進のための先端技術の活用～

対象エリア「神田神保町～秋葉原～大丸有について *大丸有=大手町、丸の内、有楽町

- ・交通網が発達しており、東京駅・大手町駅をハブとした回遊ルートを構築しやすいという期待
- ・元々観光地としてのポテンシャルを持ち 区政課題となっているオーバーツーリズムやインバウンド向けのナイトタイムエコノミー周知対応などの解決を期待
- ・季節ごとのイベントとの連携

到達目標

フィールドワークに先立ち、講義を通じて、地域の現状と施策、産業の実態などに関する基礎知識を身につける。そのうえで、現地のフィールドワークや課題解決型グループワークにより、地域の特性や魅力を理解し、さらに課題を発見したうえで、それを理解する力を身につける。

応募条件 共立女子大学・短期大学 2～4年次 GPA 2.0 以上（2024年3月末時点）

及び千代田区キャンパスコンソ構成大学学生 2年次以上

★スケジュールに対応できる場合は大学・短期大学 1年生も参加できますので、ご希望の方は、お申込みください。

人数 共立女子大学・短期大学および千代田区キャンパス加盟大学 6名程度（最大 8名迄）

同プログラム担当 共立女子大学 文芸学部 教授 深津謙一郎

共立女子大学・共立女子短期大学 社会連携センター 大石裕理子

申込（先着順ではありません。申込締切後、抽選のうえ受講確定となります）

申込期間 2024年4月30日（火）～6月12日（水）16時まで。

申込フォーム <https://forms.gle/7JWzNxyV6MpNWpm7> または右の QR コードより入力申込。



受講確定 締切後、6月に受講確定についての連絡を各自へいたします。

グループ分け

申込後、社会連携センターよりリーダー、副リーダーなどを指名します。また参加メンバー全員によるキックオフ、導入後、テーマに基づき、グループ分けを行います。

スケジュール 詳細は別紙

4月説明会 5～6月募集、7～10月 キックオフ・オリエンテーション、学内事前講義、グループワーク、準備、まとめ →11月発表 →
12月活動報告、レポート提出

キックオフ・オリエンテーション、事前講義、事前準備

会場：共立女子大学（共立女子大学以外の学生は、ZOOM 参加 OK）

- 7月4日（木）17時30分～19時10分 キックオフ・オリエンテーション（自己紹介、フィールドワーク準備）
- 7月18日（木）17時30分～19時10分 事業者、地方自治体の取組み・課題を学ぶ
（千代田区担当者より自治体の現状と施策を学び、地域社会の担い手として各々が果たす重要性を理解する。そして、事業者より施策など直面する課題を多角的視点から理解し、かつ課題解決に向けて、学生自身が地域貢献活動に主体的に取り組むよう、学生の行動を促進できるものを目指す）

共立女子大学にて活動報告会／FWを踏まえてアプリ実践、神田神保町フェアを開催（11月中旬の中で1日）

・自分たちのテーマ、リサーチ、いかしアプリ紹介。

・活動報告会（講評）

事後レポート提出

本プログラム終了後、2024年12月10日までに、①事後レポート ②報告書（パネル作成用）を大学・短大 社会連携センターへ提出する。②は各グループで作成する。

① 事後レポート（個人）

【体裁】word ファイル、A4 タテ。行数・文字数設定は、1行につき40行×40行

【枚数】2ページ（多くて3ページ） 写真、画像の使用は2枚まで。

1ページ目の上部（冒頭）に下記を記載することを必須とする。

千代田区フィールドワーク 事後レポート

課題：共立女子大学 × 東京都 × 千代田区 「神田神保町から世界へ」誘客大作戦！！

～千代田区内回遊促進のための先端技術の活用～

学籍番号●●●●●● 氏名●●●●●● ●●学部 ●●学科 ●●専攻 or ●●コース ●●年

自分なりの本プログラム取り組むにあたってのテーマ：●●●●●●●●

(レポート本文)

② 報告書（パネル作成用）（各グループで作成）

本学で用意するA1データテンプレートで作成のうえ、パワポとPDFデータ（*下記ご参照）にて、下記提出先アドレスへ送信し提出。

提出期限：2024年12月10日17時

提出先：社会連携センター 大石 ①Slack 大石宛 ②Google Driveの提出フォルダ（Slackでご連絡します）

*A1サイズで、下記レイアウトを参照のうえ、作成ください。データサイズは1M以上にしてください。

* 下記<レイアウト参考>の【目的】【プロジェクト内容・結果】【考察】も入れていただくうえで、レイアウトはお伝えしやすい形にアレンジください。（【】外した表記でも大丈夫です）

拡張子.ai .psd をお使いいただいても大丈夫です。

提出時には、PDF データで送信ください。

<パネル作成用 レイアウト参考>

2024 年度 共立女子大学・短期大学 PBL 社会連携プログラム 千代田区フィールドワーク

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

グループの課題名

所属学部 ●年 氏名（グループ全員）

【目的】

【グループワーク内容・結果】

【考察】

単位認定（共立女子大学・共立女子短期大学の学生）

本プログラムは、教養教育科目「自己開発」（2単位）として、単位認定に際しては、活動終了後に所定の時期に「活動報告書（事後レポート）」を提出後、授業担当者および共通教育センター運営会議（+専門委員会+教養分科会+自己開発担当者）が内容を精査、審査し、承認されれば単位認定となります。評価は「P」2単位（認定・GPA 対象外）になります。 ※2023年以降入学学生の科目名は「自己開発 B」です。

備考・注意事項

1. 2024 年度受講確定後、辞退はできませんのでご注意ください。
2. 1年生もスケジュールが対応できる場合は、参加申込みできます。
3. 本学 教養教育科目「自己開発」は、共立女子大学・共立女子短期大学学生のみ単位付与の科目となります（2単位）。共立以外の千代田区キャンパスコンソ加盟大学学生は「正課外プログラム」（単位付与なし）として、参加申込みできます。
4. フィールドワークは、知的好奇心と積極的行動力が豊かな実りを導きます。事前学習の他、各自の問題意識に応じて、できるだけ事前に情報収集などを進めてください。現地においては、学生集団は相当目に付く存在になります。社会的常識をわきまえた行動を旨としてください。